

# HANYU カメラさんぽ

気をつけて運転を!



12月16日(水)

誠和福祉高等学校の生徒が、「無事故・無違反・ウマイ運転」の標語がついた、手作りのウマのマスコット500個を配布。また、羽生警察署の一日署長にも任命され、道行く人たちに交通安全を呼びかけました。



上手につくれたかな?

12月21日(日)



羽生市青少年相談員協議会のみなさんが、市民プラザでクリスマス会を開催。この日の催しは、クリスマスにちなんだ様々なゲームや、ケーキ作り。子どもたちは、たくさん遊んだ後の甘いケーキに、大満足の様子でした。



最後まであきらめないでファイト!

12月14日(日)

市体育館で市内32チームが参加し、綱引選手権大会が開催されました。各チームとも思い思いのコスチュームで登場。笑いあり、技あり、涙ありと、参加者全員で綱引大会を楽しみました。

地域のためにがんばります!



12月21日(日)

白い壁に青いラインの素敵な消防センターが、下村君地区に改築されました。消防分団のみなさん、市民の貴重な財産を守るため、これからもがんばってください。



この道、55年!

あっという間にキレテ!



12月1日(月)

羽生市たばこ販売協議会のみなさんが、市役所の周りのごみ拾いを行ってくれました。「みなさん、たばこのポイ捨てなど最低限のマナーは守りましょう!」



12月24日(水)

森田常夫さん(上新郷)が、清和園へそば慰問に来てくれました。この慰問も今年で38回目。園のみなさんは、心のもった年越しそばと、貴重な体験談をお聞きし、楽しいひとときを過ごしました。



12月21日(日)

シルバー人材センターのみなさんが、羽生中央公園の落ち葉拾いのボランティアを行いました。早朝からの寒い中、みなさんお疲れさまでした。



「子年」もあとわずかとなった昨年末、愛猫モモが大きなネズミを捕まえてきた。食べるでもなく、動けなくなったネズミを私たちに見せつけている。ある本によると、これは狩りのできない私たちのために、ご馳走を持って来たのだとか。うれしいような、怖いような。今年は「丑年」。年末には、松阪牛でも捕まえてきてくれるといいねと、密かに期待を寄せている家族。大正生まれの父母、昭和生まれの私と妻、平成生まれの息子と娘。そして愛犬コロと愛猫モモとチョコビ、今年も賑やかな我が家です。そんな中での原稿書き。編集後記はどうしても家族ネタに。今年もよろしくお祈りします。

「何が君の幸せ、何をして喜ぶ? 分からないまま終わる? そんなのは嫌だ」「忘れないで夢を、こぼさないで涙」「ぼくらはみんな生きている、生きているから悲しんだ」「ミミズだって、オケラだって、アメンボだって、みんなみんな生きているんだ友達なんだ」これは全てアンパンマンの原作者「やなせたかし」さんが作詞したフレーズです。今、息子はアンパンマンが大好き。自分もおのずと「やなせ」さんについて知っていき、作詞家としても興味をもちました。抜き出したフレーズから感じられるのは、子どもたちに強く生きてほしいというメッセージ。私にも響くこのメッセージを大切に、1年間を過ごしていきたいです。今年もよろしくお祈りします。